

## はじめに

「食」は健全な生活と育ちの基本です。またそれを支える食材も、できるかぎり地域のものであること、地産地消が重要です。このような基本的な考え方に基づいて取り組みを進めてきています。

しかし、現状は、家族形態や就労状況の変化、さらには加工品も含めて食材の供給が多様になり、それに伴って、「食」も変化を迫られています。かつては、「食」においても生産と消費の距離が近く、また、土地と時節、いわゆる風土の制約が強かったと思います。今ではお金さえ出せば、世界の食材が随時手に入る状況ですが、そこには、何が健康と環境に良いのかという知識及び情報面、そして、お金を出せるかどうかという経済面、そして、それぞれでの格差の問題がかかわってきます。

このたび、野洲市民一人ひとりが食への感謝の気持ちを深め、食に関する知識と選択する力を身につけ、実践することにより、自らが心身の健康を守り、人生を豊かに生きることができるとを目的に、「野洲市食育推進計画（第2次）」を策定いたしました。

野洲市は温和な気候、豊かな土、きれいな水に恵まれたまちです。私たちはこのような自然環境を生かして、米をはじめ野菜、大豆、湖魚など農と琵琶湖めぐみに恩恵をいただけてきました。この土地に育んできた食文化や食生活は、私たちの命のみなもとです。

1次計画では、『家族みんなで「早寝・早起き・朝ごはん』、『農とびわこのめぐみに感謝して「いただきます」「ごちそうさま』、『地産地消と日本型食生活の実践』を重点目標に掲げて食育の推進をすすめてまいりました。

2次計画では、1次計画からの基本理念である「家族みんなが新鮮で安全な地場産物を使った料理の並ぶ食卓を囲み、生涯にわたって健康で心豊かな生活が送れるまち」を継承し、食にかかる現状を踏まえて、重点目標として『おいしいね 早寝 早起き 朝ごはん～夕食は野菜多めに腹八分目～』、『やすのがええやん！地産地消でいただきます～す』、『食卓に彩りを語りつごう食の文化』を掲げました。

今後、市では元気で安心できる暮らしを目指し、この推進計画に基づく取組みを積極的にすすめてまいります。市民の皆さまにおかれましても、具体的な実践を通して、食育を推進していただきたいと願っております。皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたりご協力をいただきました「野洲市食育推進委員会」の委員の皆様をはじめ、ご尽力いただきました関係の皆様方に心から厚くお礼を申し上げます。

平成 26 年 3 月

野洲市長 山仲 善彰

# 目 次

## 第1章 基本的な考え方

1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画期間	2
3. 計画の位置づけ	2
4. 計画の全体像	2
5. 重点目標	3
6. 計画策定の体制および進め方	6
7. 計画の推進体制	6

## 第2章 「食」をめぐる現状

1. これまでの経過	7
2. データからみる野洲市の現状	8
3. 推進委員会でのこれまでの取り組み	12

## 第3章 わたしたちの取り組み

1. 改善目標を含めた計画の全体像	17
2. 重点目標ごとの取り組み	18
1) おいしいね 早寝 早起き 朝ごはん～夕食は野菜多めに腹八分目～	
2) やすのがええやん！地産地消でいただきま～す	
3) 食卓に彩りを 語りつごう食の文化	
3. 食育推進の改善目標	25

## 資料編

1. 野洲市食育推進委員会設置要綱	26
2. 策定経過	27
3. 委員名簿	28
4. 計画策定に参画した委員からのメッセージ	29
5. 計画への市民の声	32
6. 野洲市の地場産物を使った料理と郷土料理	33